

市民キャビネット災害支援部会「災害ボランティア」としての心がけ

- 1) NPOは組織化されたボランティア団体であり、組織として活動する。
- 2) 原則1人での活動はしない(2人組で活動する)
- 3) 自己の能力以上の行動はしない(2次災害を起こさない)
- 4) 装備品については
ネームカード(ケース付) ヘルメット ゴーグル マスク 手袋 長靴 作業着(つなぎ) ユニフォーム レインコート 応急救急箱等を貸与します。
- 5) NPO活動保険を適用します(個別にボランティア保険に加入しなくとも同等の補償が受けられます)
氏名、住所、生年月日、連絡先を申告ください。
- 6) 意見具申はOKだが、勝手に自己判断で指示を変更しない。
東日本大震災での悪い実例: 選別した支援物資を宮城県の団体に届けるように書面で指示したが、福島県が重要と自己判断して福島県に向かい、「どこに持って行けば良いですか?」と指示変更を言ってきた。たまたま会津町に避難者が集まっていたので、調整して届けた。本部を混乱させる行為である。
- 7) リーダーとしての注意
パニックに陥らない(怒ならない: リーダーとして冷静に対処する)
- 8) 情報伝達のあり方(事実の報告: 2次情報(また聞き)は確認して報告)
- 9) 活動にかかわる交通費は原則支給する。(市民からの寄付金を原資としている)

